

# 危険な外国産移入淡水魚の繁殖事例



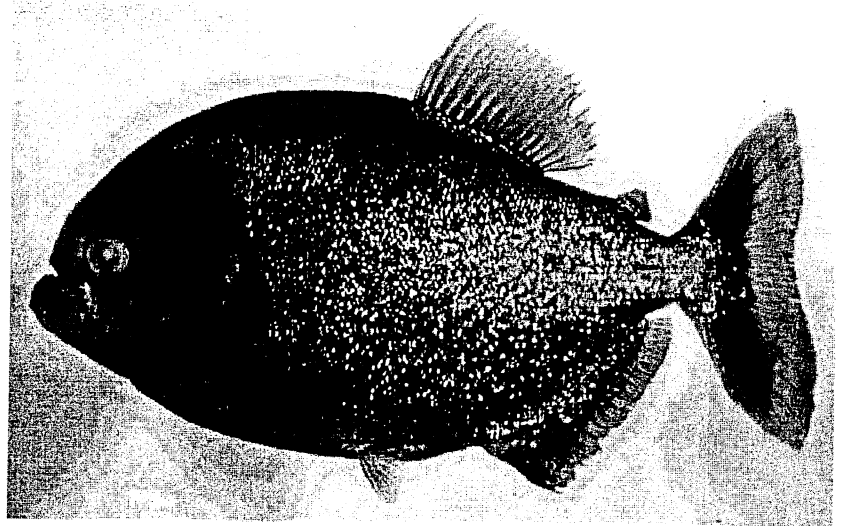
## 杉並の公園にピラニア

2001年9月1日 読売新聞

観賞用のメダカを放流？

100匹以上が退治

杉並区立塚山公園の池で捕獲されたレッドピラニアの成魚と稚魚。ピラニアは、南米中部および南部に分布する肉食性の淡水魚で、鋭い歯と群れをなす習性がある。成魚は体長約30センチメートル、体重約1キログラムに達する。稚魚は体長約5センチメートル、体重約1グラムに達する。ピラニアは、メダカや金魚などを捕食する習性があり、観賞用のメダカを放流した結果、池に繁殖したと見られる。区当局は、ピラニアの退治に努めているが、100匹以上が捕獲された。ピラニアの放流は、生態系に悪影響を及ぼす可能性があるため、厳禁されている。

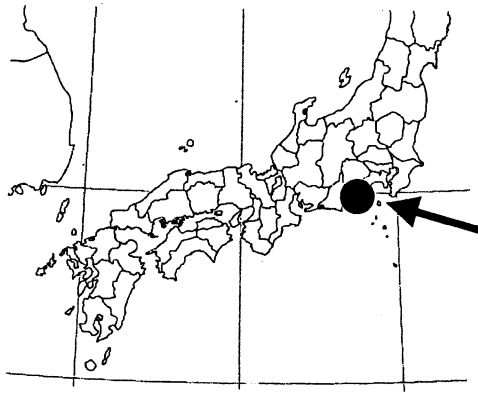


レッドピラニア *Pygocentrus nattereri*  
南米中部および南部原産

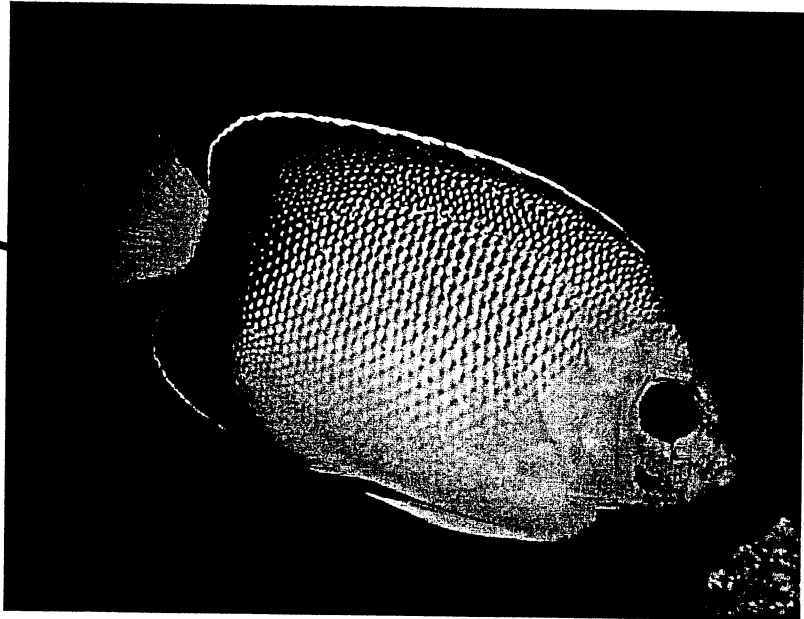
2001年8月、杉並区立塚山公園内の池で成魚と稚魚が捕獲された

資料提供：竹内 健氏

# 外国産熱帯性海産鑑賞魚の移入例



1996年10月6日  
静岡県沼津市大瀬崎  
御宿昭彦氏により撮影



インディアンイエローテールエンゼルフィッシュ  
*Apolemichthys xanthurus*  
モーリシャス、モルジブ、スリランカ～インド南東岸

●放逐の可能性が高く、1週間から10日間で姿を消した

# なぜ観賞魚の移入が起こるのか？

## 放 逐

- 飼育意欲の低下
- 飼育難度の上昇
- 愉快犯的放流
- 善意の放流

## 逸 出

- 庭の池からの流出
- 水換え時の流出

※一般市民レベルでは起こりにくい

# 観賞魚の移入は何を引き起こすか？

基本的には移入生物一般と同じ！！

- 熱帯性魚類の亜熱帯域での侵入
- 温帯性魚類の温帯域での侵入

食害  
生態系かく乱  
遺伝子汚染



在来生物への  
影響大

- ピラニア類の移入



人への危害

# 急がれる効果的な対応

- 放逐の危険性の高い魚種の輸入・販売の規制
- 地域特性に応じた法整備
- 引き取りの制度化(水族館・博物館)
- 水族館・博物館と連携した普及啓発
- 学校教育への取り込み
- 情報収集網の整備